

はじめに

私達、特定非営利活動法人 AOAORA 福井は、知的に遅れのない発達に凸凹のある方が、生き活きと輝きながら社会参加できるよう、その凹を埋めるだけでなく、優れた能力・特性（凸）を伸ばすことを目指し、当事者とその家族、支援者、福井大学の専門家とともに設立され、福井県、坂井市、福井市等自治体からの放課後等デイサービス・児童発達支援・日中一時支援等の委託事業や助成団体の事業、発達障害の理解促進・啓蒙、県内の親の会・支援施設相互のネットワークの構築、発達障害に関する調査・研究などの活動を行なっています。

このたび、特定非営利活動法人 AOZORA 福井では、厚生労働省 平成 24 年度 障害者総合福祉推進事業 「医療や福祉分野の発達障害支援者の人材育成体制の調査について」の助成により、福井県のほか、国立精神・神経医療研究センターや全国 4 県（山梨県、長野県、大分県、山口県）の発達小児科医・児童精神科医の先生方、福井県健康福祉部・障害福祉課のご協力を得て「発達障害児・者のニーズやライフステージに応じたトランジション・リエゾン支援のための医療・福祉分野等の人材育成に関する調査」として、「発達障害」に関する「医療」や福祉、教育などにおける様々な問題・課題や要望について調査研究を行いました。本調査研究事業の結果が、様々な地域でのトランジション（移行）・リエゾン（連携）支援のモデルや国の発達障害の医療・福祉に関する施策などにつなげていければと思っています。

本事業の一環として、発達障害のある人への、医療・福祉・心理・教育など様々な職種の支援者の人材育成への利用を目的として、実践的な研修テキスト作成のためのガイドブックを作成しました。山梨県の作業部会を中心に精力的にまとめて下さったものです。この「研修テキスト・ガイドブック」は発達障害に関するいわゆる「総論編」に加えて、それぞれのライフステージにより「幼児期編」「学齢期編」「思春期編」「成人期編」の5部から構成され、それぞれの研修のニーズに応じて様々な組み合わせで利用できるようになっています。主な出典として、厚生労働省雇用均等・児童家庭局の許可を得て、平成 20 年に発行された「一般小児科医のための子どもの心の診療テキスト」、「一般精神科医のための子どもの心の診療テキスト」、「一般精神科医向け、および子どもの心の診療専門医養成用のテキスト」「子どもの心の診療医の専門研修テキスト」(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kokoro-shinryoui.html>) の内容を有効活用させていただいています。また、厚生労働省や「特定非営利活動法人 AOZORA 福井」のホームページ以外にも各関連機関のホームページから、自由に PDF としてダウンロードし、ご利用していただけるよう予定しています。

限られた事業期間の中で作成いただいたため、一部表現や表記法が不統一、不十分である点は何卒ご容赦いただければ幸いです。今後、2013 年発表予定の DSM-5 の最終版での内容や、皆様からのご指摘・ご意見等を反映させながら、適宜改訂を行なっていければと考えています。

このガイドブックを各地の発達障害の支援に関わる様々な職種の人材育成のための研修テキスト作成の際のたたき台として、広く活用していただければ幸いです。

平成 25 年 3 月

特定非営利活動法人 AOZORA 福井
理事長 瀧澤 治美